

視 察 報 告 書

令和5年5月12日

伊勢市議会議長 品川 幸久 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時：令和5年4月27日－29日

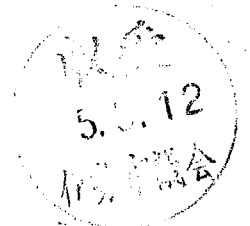
視察事項： Eight Networking EXPO 2023 への参加

<https://eight-event.8card.net/eight-networking-expo2023/>

東京国際展示場 ビッグサイト

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照



Eight Networking EXPO 2023 への参加

東京国際展示場 ビッグサイト

概要

東京都 東京国際展示場ビッグサイトにて、名刺アプリの SANSAN 株式会社が主催し、開催された Eight Networking EXPO 2023 に参加した。

所感

今回初開催の Eight Networking EXPO は通常の展示会をより昇華させ、出展者と来訪者の繋がりに軸を置いた展示会である。出展者もスタートアップ企業を中心に、通常の展示会よりも事業年数や売り上げ規模が小さく、まだ始まったばかりという企業も多くみられた。

貨物車両の通行状況をビッグデータとして収集、分析することで、渋滞対策を考えたり、生活道路との分離を実現することにチャレンジする企業や、家族葬や小さな葬儀を想定して葬儀に IT を取り入れる企業、健康志向のブームと地産地消とふるさと納税を掛け合わせ社食に地元産野菜を使ったメニューを配送している企業、人の繋がりそのものを収益化している企業、空気から水を作る技術を使い、新しいウォーターサーバーの提案と今後の防災利用を提案する企業など、専門分野の展示会にはないバラエティに富んだ展示があったことも大変に良かった。

また、この展示会が縁で、後日伊勢まるごときっぷのアプリ Horai を提供する企業の CEO とお話しする機会を得ることもできた。事業の課題点や多くの意見交換が出来たことも一つの成果であったと思う。

展示会へ議員が出向き、多くの企業と名刺交換を行い語らうことで、伊勢を宣伝するとともに、伊勢市に新しい知識と技術をもたらすことが出来る。もっとうまくいけば企業が何かしらの形で進出してくれる可能性もある。展示会視察にはそのような多くの可能性がある。ここで得た人脈をさらに広げ、今後も伊勢により多くの成果をもたらしていきたい。

視 察 報 告 書

令和5年5月26日

伊勢市議会議長 品川 幸久 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時：令和5年 5月 8日～11日

視察事項： 8日、9日 市町村議会議員特別セミナーへの参加

<https://www.jamp.gr.jp/training2023/2333001/>

千葉県 市町村職員中央研修所

10日、11日

東京国際展示場 ビッグサイトにて開催された各展示会への参加

東京都 東京国際展示場ビッグサイト

展示会詳細は別紙①

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照

別紙①

第6回 [学校] 施設・サービス EXPO [西3ホール]

<https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/sfs.html>

NexTech Week 2023 [春] [南1-4ホール]

<https://www.nextech-week.jp/spring/ja-jp.html>

第2回 デジタル人材育成支援 EXPO [春] [南1-4ホール]

<https://www.nextech-week.jp/spring/ja-jp/about/dxh.html>

第3回 量子コンピューティング EXPO [春] [南1-4ホール]

<https://www.nextech-week.jp/spring/ja-jp/about/qc.html>

第4回 ブロックチェーン EXPO [春] [南1-4ホール]

<https://www.nextech-week.jp/spring/ja-jp/about/bc.html>

第7回 AI・人工知能 EXPO [春] [南1-4ホール]

<https://www.nextech-week.jp/spring/ja-jp/about/ai.html>

第1回 [国際] ウェルネスツーリズム EXPO (iWT) [東7ホール]

<https://www.wellnesstourism-expo.jp/ja-jp.html>

第14回 EDIX (教育 総合展) 東京 [西1-4ホール]

<https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp.html>

第19回 [東京] 総務・人事・経理 Week [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/>

第4回 PR EXPO 春 [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/pr.html>

第2回 健康経営 EXPO 春 [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/hel.html>

第18回 オフィス防災 EXPO 春 [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/bousai.html>

第19回 オフィスセキュリティ EXPO

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp.html>

第14回 総務サービス EXPO 春 [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/ofs.html>

第11回 働き方改革 EXPO [東1-6ホール]

<https://www.office-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/ws.html>

第14回 教育ITソリューション EXPO

<https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/edict.html>

第3回 保育・幼稚園 ICT化 EXPO

<https://www.edix-expo.jp/tokyo/ja-jp/about/nur.html>

市町村議会議員特別セミナーへの参加
千葉県 市町村職員中央研修所

概要

千葉県市町村中央研修所にて開催された、市町村議会議員特別セミナーに参加した。

所感

5月8日(月)

13:30～15:00 「自治体議会改革にいま必要なもの」

法政大学総長法学部教授廣瀬克哉氏

2日間の講義の要旨や自治体改革へ向き合う姿勢を中心に講演をしていただいた。

一点、感じたことは、政治という本来は答えのないものに答えを設定することに必死になりすぎではないかという事である。議会改革をしているからいい議会でもなければ、議会改革をしているから自治体が発展するわけでもない。改革度やランキングに囚われる議会改革はそろそろやめ、住民の方を向き議会が自治体の発展をいかにリードしていく存在となるか。議会改革はその方向にかじを切るべきであろう。アンケートを取り、住民満足度が上がったところで市は発展しない。議会の本来の仕事とは何か。講演などで登壇される講師陣も含めて立ち返る時期に来ている。

15:15～16:45 「女性・若者の参画が政治を変える」

駒澤大学法学部教授大山礼子氏

女性・若者の参画というテーマであったが、講師の政治観や政治家像は私から見るととても偏ったものであった。女性や若者の人数を熱心に語っていたが、議員とは多様な意見を聞き、老若男女それぞれの意見に自らの考えを組み合わせる答えを出す仕事でもある。極端な話をすれば性別年齢階層ともに当事者が必要なのではない。本来議会改革で最も必要なものは議員の能力向上である。それが間接民主主義である。

若者や女性の議員数に囚われる考え方は直接民主主義に近いものであり、講師の話は私からすれば明らかな誤った考え方であった。全国的に定数が削減される中で議員本来の責務である代弁者としての能力に重きを置けない講師の話はとても偏りがあり、個人の思想を伝えたいだけ。もう少し見聞を広め広く考えるべきそのように感じる内容であった。

5月9日(火)

9:00~10:30「サーキュラーエコノミーの実現と自治体の役割」

日本生産性本部エコ・マネジメント・センター長喜多川和典氏

サーキュラーエコノミー(循環経済)とは、従来の3Rの取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動であり、資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目指す考え方である。このある意味では新しい概念について講義をいただいた。

講義の中で特に興味深かったのは、EU圏ではこれらの環境負荷低減が経済目標の一つとして一般化されており、商取引の中でも考慮されているという事である。環境負荷の高い製品やリサイクル率の高い製品はそれを理由に商取引の対象外となることもある。そんな現実を知ることが出来た。今後世界的に環境負荷低減の流れがさらに進めば日本の製品は取り扱われなくなることもある。それを見据えた考え方をという環境と経済のこれからの視点を知ることが出来たことは大変に有意義であった。

10:45~12:15「議会のデジタル化をどう進めるか」

明治大学公共政策大学院教授湯浅塾道氏

講義ではコロナ禍で起きたことや地方議会の現状、法整備などの話を教えて頂いた。

コロナ禍で進んだ地方議会がコロナ後に元に戻っては意味がないし、進んだデジタル化はコロナ禍でなくとも使えるものにしていかなければいけない。そのように強く感じる内容であった。実際にデジタル化は非常時の運用ではなく、今後はある意味では一般化、常態化していかなければならないものでもある。

進むことはあっても後退することにメリットはない。そのことは常に意識をしてデジタルと議会のいい関係を築いていけるよう今後も研鑽したい。

東京国際展示場ビックサイトにて開催された各展示会への参加

東京都 東京国際展示場ビックサイト

概要

東京都 東京国際展示場ビックサイトにて開催された各展示会に参加した。

所感

5月9日（水）、10日（木）

今回は地元日程もあり、展示会への参加は2日間となった。2019年に南館が開業し、会場である東京ビックサイトはさらに大きくなった。今回の視察では東、西、南館全ての展示を回るつもりでいたが、全館開催の展示会はカンファレンスへの参加も考えると2日では回り切れないという事が最初の反省でもある。

今回は東、南の展示を中心に回ってきたが、コロナ禍においても数多くの技術や政策の進歩があったことがよくわかった。観光の話ではウェルネスツーリズムの展示会場を見てきたが先端地域の売り出し方やPR方法は市の担当者も学ぶべきであろう。単に医療だけではなくデトックスや健康体験という事も含めてウェルネスツーリズムの商品構成は大変に勉強になった。防災分野では特に食料関係の技術革新が進んでおり、保存年限や容器材質などで過去にないものを発見することもできた。

名刺交換をする中で伊勢市にも興味を持ってくれる企業が複数あったことも展示会視察における成果である。伊勢市に戻ってから展示会で得た資料を担当部署とも共有した。今後の市政の参考となる成果があったと考えている。

視 察 報 告 書

令和5年6月30日

伊勢市議会議長 品川 幸久 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 5年 6月16日（金）～17日（土）
視察事項： 東京国際消防防災展 2023 (FIRE-SAFETY TOKYO) への参加
<https://www.fire-safety-tokyo.com/jp/index.html>
東京国際展示場 ビッグサイト

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照

東京国際消防防災展 2023 (FIRE-SAFETY TOKYO) への参加 東京国際展示場 ビックサイト

概要

東京都 東京国際展示場ビックサイトにて東京国際消防防災展 2023 (FIRE-SAFETY TOKYO) に参加した。

所感

5年に一度開催される国内最大の消防防災の展示会「東京国際消防防災展」は、過去に発生した災害を教訓とした災害対策及び多様化する災害リスクを周知し、都民等の防火防災意識及び行動力を向上させるとともに、セーフシティの実現に向け、住民・企業・行政による3者相互の連携強化並びに関連技術・産業の振興を促進することを目的として開催されている。

民間と行政に交えて展示や体験ブースなどが設置されていることで地域住民の参加が促進され結果として消防、防災行政への理解促進を促すことが出来ていることも大きな特徴である。

展示会はトレンドや各分野の今後の方向性を確認する上で非常に有効に機能することはこれまでも度々触れてきたが、本展示会では消防防災危機の資材の軽量化や機械化に関する展示が非常に多かった。近年増加している女性消防職員・女性消防団員がより活躍できるように各機材の運搬をどのように行うのか。高齢者の避難などに際して例えば足で押せる昇降式非常エレベーターなどの展示もあった。

IT や AI と共に、女性活躍、高齢人材の活用、それぞれの層が利用できる機器という事が非常に重要な要素を持つこともわかった。特に人口減少が著しい地方では消防、防災の担い手も今後不足することは容易に予測できる。先端の技術を地方こそが積極的に取り入れ人的問題の解消に早期に取り組まなければならない。

視 察 報 告 書

令和5年10月20日

伊勢市議会議長 品川 幸久 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 5年10月11日（水）

視察事項： 第13回 農業WEEKへの参加

<https://www.m-messe.co.jp/event/detail/7464>

千葉県 幕張メッセ

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照

第13回 農業WEEK への参加への参加

千葉県 幕張メッセ

概要

千葉県 幕張メッセにて開催された第13回 農業WEEKに参加した。

所感

コロナ禍で中止となっていた各種展示会も今年は以前の通りの開催となっている。この間各展示場は規模の増設や会場の整備すみわけも進み、個別の展示会規模が大きくなったと感じている。今回の農業WEEKも以前にはなかったアウトドアに関する展示や6次産業化のその先に関するテーマ、ある意味では遊びでもあるレジャーの展示などもあり、とてもにぎわっていた。

しかし、久しぶりに来た農業系展示会は数年前とは様相が大きく変わっていた部分もあった。と、いうのも、かつての海外からの参加者の多くは日本の製品を海外から買いに来る。がメインであったが今回は海外企業の展示ブースが大幅に増加しており、農業分野においても海外の技術や製品がシェアを高め、日本に海外の高い技術の製品を売り込みに来ている。そんな様子を感じ取れる状況であった。

この事は本来強い危機感を持って語られるべき状況ではないかと私は感じている。内需主導で持ちこたえてきた日本社会が製品を外部から購入するようになれば、これまでの日本経済モデルは崩壊することになる。日本の特殊な環境下がある意味独占的に排他的に行ってきた農業分野において、多くの外国企業が売る側で参入しているという現実、今後数十年で大きな変化があるであろうという事を予感するには十分であった。国内産業の保護を政府が主導で行ったり、それぞれの自治体が地場の会社を守という強い決意を持たなければ日本から今後数十年で技術が失われるという懸念すらある。そのような状況に陥れば再建は困難である。この状況をもっと多くの政治や行政関係者は知るべきであろう。

展示会の中身としては、トレンドはIT、AI、サステナブルが中心であった。課題解決型の農業+〇〇の連携の展示も多く、もみ殻から燃料を作る技術、竹害解決のために武純を作り有効利用する技術、菌床で行うキノコ作りで出る残土を堆肥化することで再利用する技術など興味を引く展示も多かった。

今後、市でも後継者不足や人口減少により課題を解決するという事がキーワードになると感じているが、民間の持つ優れた技術を研究し、一つでも多くの課題に取り組みたい。

視 察 報 告 書

令和6年2月29日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 6年2月15日（木）、16日（金）
場 所： 東京都 東京国際フォーラム
視察事項： 15日 第33回国際MICE EXPOへの参加、見学
<https://www.ime2024.jp/index.html>
16日 東京国際フォーラム
第10回町工場見本市への参加、見学
<https://machikouba.jp/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照

15日 第33回国際MICE EXPOへの参加、見学
東京国際フォーラム

概要

東京都 東京国際フォーラムにて開催された第33回国際MICE EXPOに参加し、展示会の見学を行った。

所感

MICE EXPOは、自治体がMICEや大会主催者に自治体売り込み開催を呼びかける商談の場である。伊勢市は伊勢志摩観光コンベンションとして参加している。

今回は、前産業建設委員会委員長として事業成果を確認するとともに実際の誘致の現場を見るために視察先として選定した。

実際に担当者に話を聞いてみたが、伊勢市の誘致における課題はやはりレセプションホールに課題があることである。例えば会議を観光文化会館で行ったとして、その後200名を超える人員での懇親会は可能であるか。会場がサンアリーナであればどうか。雨天の時はどうするか。

一つの場所ですべてが完結する施設を持つ自治体とは入り口の時点で大きな差があり、結果的にそのことが誘致の弊害となっているのが現実である。主催者からすると伊勢市という場所は魅力的でも他の都市に比べて開催前から考える事項が多く決定に至らない状況にある。

このことは以前より、委員会などでも議論されているが、民間企業の進出ありきの待ちの姿勢から脱却できない現状では今後も苦しい展開が続くのではないかと考えている。待ちの姿勢ではなく何かしらの攻めの姿勢を示し、最低限の受け入れ態勢を構築することが急務である。今回の視察で得た他市の状況なども分析し、高付加価値という新しい観光の扉を開き、新たな伊勢市へと昇華するような提案をしていきたい。

16日 第10回町工場見本市への参加、見学

概要

東京都 東京国際フォーラムにて開催された第10回町工場見本市に参加し、展示会の見学を行った。

所感

町工場見本市は葛飾区をはじめ、東京都城東エリアおよび近隣地域の中小製造業のために開催されている展示会で、「機械・機器」、「金属加工」、「ゴム」、「プラスチック」、「ガラス」、「皮革」、「紙・印刷」、「繊維」、「めっき」等の製造業かつ中小企業が出展し、来場する企業・官公庁・事業開発、金融機関との商談の場として活用されている。

今回、敢えて町工場見本市に注目したのはその規模と開催コンセプトである。町工場見本市は大都市東京の中でも一部の地域に特化し、なおかつ中小企業が中心である。そして、その中では商談と共にそれぞれの工場が持つ技術や知識が交換されている。

伊勢市での開催の可能性や伊勢志摩地域での技術交換の可能性を考え、視察先としてこの見本市に着目した。

実際の話として伊勢市においても他の会社がどのような技術を持っているか、共同で製品を開発できる可能性についての情報交換はさほどないと聞いている。今回は製造業であったが、他の業種においても積極的な連携を行い新商品やサービスを共有したり、作ることは重要ではないかと感じている。

また、今回視察に行った規模の展示会であれば伊勢市が中心となり伊勢志摩地域や定住自立圏の中でも十分に行う事が可能であろう。もちろん集客の問題は残るが。

一方で定住自立圏管内の企業が出展する展示会に近隣市町の学校等が訪れる仕組みを作れば、就職や定住などにもつながるし、地元の産業を知ることがシビックプライドの醸成にもつながる。

伊勢市は定住立圏の中心市としてこの地方での展示会開催を行うべきである。

視 察 報 告 書

令和6年2月29日

伊勢市議会議長 藤原 清史 様

自由民主党

幹事長 野崎 隆太

先進地視察・政務活動を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

日 時： 令和 6年2月21日（水）、22日（木）

視察事項： 香川県東かがわ市わくわく課の取り組みについて聞きとり、現地視察

https://peraichi.com/landing_pages/view/wakuwakuka/

<https://project.nikkeibp.co.jp/hitomachi/atcl/study/00112/>

視察概要：別紙参照

視察所感：別紙参照

東かがわ市わくわく課の取り組みについて

香川県東かがわ市

概要

東かがわ市の市役所外部組織「東かがわ市わくわく課」の活動について東かがわ市創生総合戦略アドバイザー（東かがわ市わくわく課長）の山下翔一氏にご説明と案内をいただいた。

所感

香川県にある東かがわ市では、地域が抱える課題を自発的に解決することをめざして、市役所の外部組織として「東かがわ市わくわく課」が立ち上げている。“市民はもちろん、市外の人も参加して、『わくわくする未来の東かがわ市』の創造に取り組む。”そんなコンセプトを持って運営されているのがわくわく課である。

初日は東かがわ市に到着したのち山下氏に市内を案内していただいた。夜は市内のわくわく課関係者、一般社団法人全国わくわく課協会の皆さんに街づくりに関する事項や思いを伺いとても熱心な議論をさせて頂いた。

2日目は東かがわ市、市制20周年記念事業として開発されたゲームアプリGloveStoryのリリース記者会見に立ち会わせていただいた。東かがわ市を舞台としたゲームではあるが、わくわく課の誕生から数年で自主制作によるアプリがリリースされていることには大変な驚きを感じるとともに地方における大きな可能性を感じた。ゲームの開発者は2年前までは素人でプログラミング教室に通うところから始めリリースにこぎつけたというから驚きである。

東かがわ市は手袋の生産量が全国シェア90%以上を誇っており、手袋シェア日本一のまちでもある。ゲームのタイトルは地場産業である「手袋」から来ており、このような取り組みもシビックプライドの醸成に役に立つものであると思う

伊勢市に立ち返ってみたときに地方創生にかかわる各種アドバイザーなどの制度を積極的に生かしているか、地域にどのような経済効果を生み出しているか、もっと自由な立場で活動できる人材を発掘してみてもよいのではないかなど数多くの事を感じた。

形や言葉だけのよそ者ではなく、よそ者を受け入れ自らの力とする。背景にあるのは少子高齢化や過疎化による危機感かもしれないが、伊勢市も決して他人事ではない。東かがわ市を参考にしながら、市に求めるだけではなく我々議員が個人として役割の中で何が出来るとかをより模索していきたい。